

多文化共生推進のためのワークショップ報告書

日時 ①2022年1月13日(木)、②2022年1月14日(金) 午後6時30分～午後8時

場所 ①、②ともに花巻市役所本館302, 303会議室

参加者 ①9名、②11名

アドバイザー 岩手大学 松岡 洋子 教授

当日の内容

花巻を楽しもう、町内活動に参加しよう、災害から身を守ろう、の3つのテーマで普段感じていることについて話し合ってもらい、花巻市の課題の掘り起こしをしました。

花巻を楽しもう

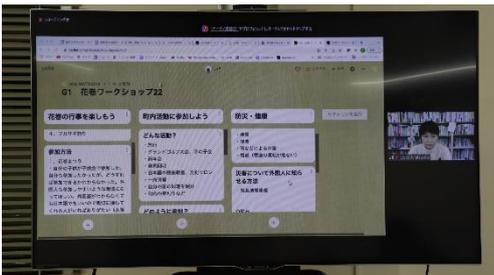
花巻まつり、わんこそば大会、スカイランタンなど花巻には様々なイベントがありますが、参加したい気持ちはあるが仕事の都合で参加できなかったり、どのように参加したらいいのかわからないとの声がありました。また、お祭りがあることを知らなかったという方もいました。誰か知っている人に誘ってもらえると参加しやすい、ホームページやポスターでの多言語の宣伝があれば参加しやすくなるという意見がありました。また、タイやフィリピン出身の方から漢字で書かれていると難しいが、英語だと母語でなくても勉強したことがあるので読みやすいという意見もありました。



町内活動に参加しよう



地域の活動には、一斉清掃や資源回収、町内の運動会や盆踊り大会などがあります。これらの情報は回覧板を使って共有することが多いですが、アパートに回していない地域もあるようで、地域の活動を知らない方がいました。また、行きたいけど行っていいかわからない、お知らせも漢字ばかりだと分からない、という意見が出ました。周知の方法の工夫が必要、外国出身住民に対して必要な支援をする人がほしい、などの声がありました。



防災から身を守ろう

花巻市では、地震、台風、大雪などの災害が発生した時はJアラートやホームページ、ラジオなどを通じて情報を発信しています。しかし日本語で発信されており、避難所にいつ行ったらいいかわからない、さらには避難所がどこかわからない、という意見がありました。Jアラートで携帯に届いた日本語の情報をインターネットで翻訳をかけて使用している外国出身の方もいましたが、「震度4」がどんな揺れの強さかわかりにくい、経験したことがない災害について理解することが難しい、といった声がありました。また、災害時にどのような行動をとればよいのかわからない、自分が住んでいる地域の避難先は知っていても外出時に別の地域にいるときにどうしたらよいのかわからないという声もありました。

